令和８年度　地域連携推進会議　議事録

事業所名	ぬくもりの郷グループホーム
開催日時	令和8年7月13日
開催場所	ぬくもりの郷　２階会議室

出席者	構成員	人数		備考
	事業所職員	5	名	管理者、サービス管理責任者、事務局職員、世話人職員、相談員
	入居者代表	1	名	
	入居者代表のご家族	1	名	
	入居者ご家族の代表	1	名	
	市町村担当職員	1	名	安城市福祉部障害福祉課
	地域の福祉関係者	1	名	民生委員・赤松町福祉委員会
	地域の一般参加者	1	名	実習生

議題

（１）開会の言葉
（２）管理者あいさつ
（３）出席者紹介
（４）地域連携推進会議の趣旨説明　ア．会議の目的役割説明
（５）ぬくもりの郷ホームの説明　　ア．生活・活動について　イ．運営・経費について　ウ．ホーム見学（Ⅱ・Ⅲ棟
（６）質疑応答
（７）閉会の言葉

協議内容・意見等

（１）略

（２）昨年度から始まり、２回目の開催となります。６月７日の中日新聞に「直近５年間の障害福祉サービス事業所の不正受給　約８０億円」との報道がありました。地域連携推進会議は、その運営の透明性を高める役割りもあると思います。忌憚のない意見をお願いします。

（３）出席者欄の構成員参照

（４）地域連携促進会議の趣旨説明

（５）（ア）プロジェクターを利用し、現在のホーム概要・利用者の生活の様子と町内会イベント参加時の写真紹介・集金内容等について説明。（イ）『令和７年度ぬくもりの郷　事業費内訳』と利用者に同意いただいた『グループホーム生活費の取扱いについて』の文章を用いて、利用者の自己負担金額と返還金・今後集金額について説明。（ウ）入居者と事業所職員案内によるホーム男性棟の見学。

（６）
質問：【管理者から】地域から見たぬくもりの郷はどのようにみえますか？
回答：【地域の福祉関係者】赤松町も新しい住人が増えている。施設のことを知っているかどうかは・・・。（ぬくもりワークス・ぬくもりの郷）で歩いているのを見ます。（施設の）行事やイベントには参加したいと考えています。
感想：【入所者ご家族】ホームに入り、情緒的に落ち着いた。出席する日が増えて、いい事ばかり。
【入居者代表】
ホームの良い事は？→「美味しい」　父より「いつも献立表をよく見てメニューよって月曜日の利用を決めるぐらい楽しみにしている」
・ホームに入ったことで通所の日数が増えて、朝から通所出来る日が増えた。
質問：【市町村担当職員】職員の人材不足が課題とありましたが職員の募集はどのようにされてますか？
回答：【管理者】実習生に声を掛けさせてもらう時があります。入職して「何か違うな」と辞めていくミスマッチが起きにくいかと思います。また、特定外国人採用制度を利用し、海外の方を雇用しています。いずれは世話人にもと考えています。
感想：【実習生】普段の様子をみていて職員さんが温かい支援をされていると感じています。